## JOTC WEBINARS 2024 第3回

2024年11月20日(水)

「クルーズ旅行全般のご案内」

クルーズ旅行推進部会長 松浦 賢太郎 (クルーズのゆたか倶楽部)

#### 自己紹介





### クルーズのゆたか倶楽部<sub>株式会社</sub> 代表取締役社長 松浦 賢太郎

- ・青山学院大学 大学院 国際マネジメント研究科修了 経営管理修士(MBA)
- ・2002年 (株)ニュー・オリエント・エキスプレス (現株)エヌオーイー) 入社
- ・2005年 クルーズのゆたか倶楽部㈱入社
- ·2015年 同社代表取締役就任
- ·2016年 クルーズ・マスター取得 (NO-0058)
- ・2021年 旅の専門店連合会(旅専) 9 代目会長 就任
- ・2021年 日本旅行業協会(JATA)クルーズ旅行推進部会長 エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク 専門学校東京クルーズ科 非常勤講師
- · 2022年 JATA運営役員 & JOTC役員 就任
- ・2023年 自社ビルにバイリンガル保育園を開園 (保育事業参入)
- ・2024年 旅行産業経営塾第13期入塾 (6期OB、二度目の入塾)

日本旅行業協会(JATA)は全国の旅行会社約1,150社が加盟

アウトバウンド促進協議会(JOTC)には7つの部会がある クルーズ旅行推進部会(旅行会社14社+JOPA+JICC)

2021年4月部会長就任 これまで情報交換を行う定例会が 活動の中心だったのを改め、積極的な啓蒙活動に移行

- ・クルーズキャンペーンを主導(2022年、2023年)
- ・4月、JATAクルーズB2Bワークショップを実施
- ・11月、JOTCクルーズ販売ウェビナーを実施
- ・12月、台湾研修旅行を実施(台湾のクルーズ販売を研究)



2022年、日本船社3社による日本初のキャンペーン!

2023年、日本船社2社 &外国船社9社による

日本初のキャンペーン 第2弾!



○日本旅行業協会

## 【初企画】JATAクルーズB2Bワークショップ 4月開催、JATA研修室を利用



日本船社 2社 外国船社 7社 GSA/PSA6社 旅行会社 12社 多数の港湾関係者 クルーズを販売する旅行会社は JATA加盟の旅行業者1,150社のわずか数%

クルーズを販売する旅行会社は、クルーズ元年 (1989年)から大きな変動なく増えていない。他国のクルーズ人口は飛躍的に増えたが、日本は30年間ほぼ横ばい。2023年は19.6万人

今後、日本籍船が現状の2隻から8隻に拡大するので、クルーズを取り扱うチャンス到来!

## なぜクルーズを販売すべきか?

# まずはお客様の事を 第一に考えてみましょう!

旅行会社スタッフとしてまず第一に考える ことは・・・

お客様が今までに経験したことがなく、

今までにした旅行よりもさらに素晴らしい 体験ができるような旅行を提供すること

#### テーマ クルーズ旅行全般のご案内

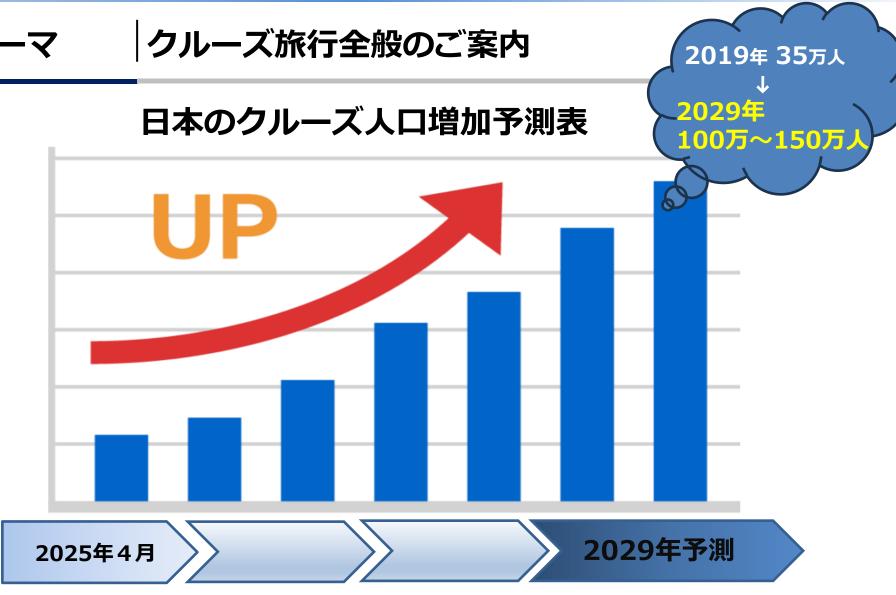


## クルーズ三大不安

①船酔い ②服装 ③退屈

 $\downarrow$ 

不安解消の説明をもうやめませんか?



今後、日本籍船が増えクルーズ人口が飛躍的に増大することが期待されている

#### 日本のクルーズ市場は約500~600億円マーケット

(2019年、年間のべ35万人 X 平均単価15万円)

日本船社は500億円マーケットに1隻あたり建造費500億 円以上する客船を投入する投資判断に慎重だった。

少なくとも日本のクルーズビジネスはこの10倍(5,000億円)以上の潜在性を持っていると言われている。 GDP、平均寿命、平均年収などクルーズ先進国と比較して日本は見劣りしない。

一度クルーズに参加すると9割以上の方 が、また別のクルーズに参加しています。 驚異的な高リピート商材がクルーズです。

理由は・・・ 圧倒的な高品質のバケーション ~人は船旅に帰る~ クルーズ以外の旅行は・・・ それぞれのホテル、レストラン、娯楽施設、観光 施設、交通機関には別々のビジネス習慣があり、 別々の品質に対する遂行レベルがある

一方、クルーズは・・・ 旅行の品質管理を船会社が行っている 食事、宿泊施設、エンタメ、アクティビ ティ、交通機関等すべての面で品質を高く 保つことに専念している

#### これまで日本で、クルーズが浸透しなかった背景

- ①日本の海は、冬季になると気象海象条件が悪く 周辺海域を中心としたクルーズが定着しにくかった
- ②休暇が取りにくく、取れても時期が集中し、長期の スケジュールが取れない
- ③クルーズ代金が一般の旅行と比べ高い
- ④ 1 カ所の滞在型、言語、食事、服装、テーブルマナーといった非日常に対する敬遠感がある
- ⑤利用のきっかけが掴めない

未だに旅行会社のスタッフでもクルーズを

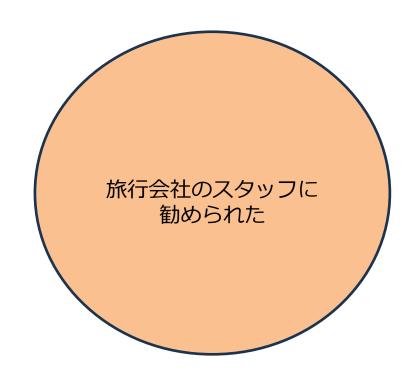
「日本から出発し、

豪華客船で世界を一周すること」

だと考えている。そして、「とてつもなく高額な旅」 「何カ月もかかる旅」「マナーや服装に気を配らなければいけない旅」というネガティブなイメージが広がり、 結果として「お客様にオススメできない旅」となっている。確かにそういったクルーズもあるが、全体から見ればそれらのクルーズはほんの一部に過ぎない。

#### クルーズ旅行を選択した理由

友人・知人または 家族がクルーズ を経験して勧められた



#### テーマ クルーズ旅行全般のご案内

#### クルーズ旅行を選択した理由

友人・知人または 家族がクルーズ を経験して勧められた (今後も緩やかに増大)

日本は未だ体験者は年間30万人前後 お客様自ら店舗に来てRQすることは少ない

旅行会社のスタッフに 勧められた (意図的に増やせる)

> 日本全国のJATA加盟の旅行会社1150社の 皆様が積極的にお客様へクルーズを勧める必要がある。 クルーズついての知識と販売への自信があれば簡単に 実行に移せる。

#### クルーズ未経験者にクルーズを販売する際の鉄則

クルーズの先進国アメリカでもクルーズ販売手法 の最初のステップは

- ・デスティネーション
- ・宿泊施設のクオリティ
- ・アクティビティ

の魅力から入り、決して「船旅の魅力」を売り物 にしないと教えられる。

つまり、他の旅行商品を販売する際にお客様がど こへ行きたいのか、どのような宿泊形態を望んで いるのか、目的地で何をしたいのかといった点に 着目するセールス手法と何ら変わりがない。

これが本来、大前提にあるに も関わらずクルーズを販売し たことがない人、クルーズの 魅力だけを語る人、それらの 人の意見に惑わされている

# 「クルーズ」や「船旅」の 魅力を言葉で説明することは とても難しいこと

お客様が一度でもクルーズを 経験すれば魅力を理解し、 次回からは「クルーズ」である という理由だけでクルーズ商品 を選好するようになる 円安の今、海外旅行の選択肢として全食事 付きのクルーズ旅行がコスパの良い商材だ と再認識された。 日本の旅行市場はトレンドに敏感なのでク ルーズも一度流行の波に乗れば大きなブー ムになることが予測される。 今、それに気づき手を打っておけば近い将 来ブームになった際に確実に利益をあげる

ことができる。

#### テーマ クルーズ旅行全般のご案内



販売店舗があれば、ぜひ船会社またはGSAに依頼して船体ポスターを提供してもらってください。またクルーズグッズをディスプレイしてクルーズ旅行を取り扱っていることを顧客にPRしてください。

#### テーマ

## スタッフトレーニングの重要性

クルーズ専門店が有利な点は クルーズに関する極めて詳細で正確な情報を顧客に 提供できる こうした専門知識があればこそ、顧客を獲得しさら にはリピーターになっていただける

スタッフのトレーニングは非常に重要です



JOPAクルーズアドバイザー制度



#### テーマ・クルーズ旅行全般のご案内



## 再掲

クルーズを販売する旅行会社は JATA加盟の旅行業者1,150社のわずか数%

クルーズを販売する旅行会社は、クルーズ元年 (1989年)から大きな変動なく増えていない。他国のクルーズ人口は飛躍的に増えたが、日本は30年間ほぼ横ばい。2023年は19.6万人

今後、日本籍船が現状の2隻から8隻に拡大するので、クルーズを取り扱うチャンス到来!

# ご清聴ありがとうございました



Tel: 03-5294-6261(本社クルーズ営業部)

E-mail: cruise@yutakaclub.co.jp

東京都千代田区鍛冶町2-5-15ゆたか倶楽部ビル4F

クルーズのゆたか倶楽部株式会社